

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	市民課長	伊藤 元敦
市民-27	実施事業	市境界整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 市民課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	行財政運営	施策の方針	行財政運営

1 事業の目的

対象	市境界に接する土地の所有者等
意図	隣接市との市境界の一部を確定するため。
効果	隣接する市との境界を明確にすることにより、行政の管轄区域が明確になる。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

逗子市との市境界一部の境界確定を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	405	0	当初予算(千円)	0		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他	203		その他			
	一般財源	202	0	一般財源	0		
	人員配置数	0.6	0.5	人員配置数	0.5		
事業経費	人件費(千円)	4,753	3,936	人件費(千円)	3,955		
	総事業費(千円)	5,158	3,936	総事業費(千円)	3,955		
	市民1人当りの経費(円)	29	22	市民1人当りの経費(円)	22		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	1. 統合できる
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1. 減少している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
協働		△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input checked="" type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →				住居表示 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	鎌倉逗子ハイランド内の市境界整備共同事業が平成29年度をもって終了したことから、同事業に係る事業費は発生しないが、今後、境界未確定箇所の測量を行う際は、測量委託料が必要となる。		
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input checked="" type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	<ul style="list-style-type: none"> 横浜・藤沢両市との境界測量は概ね完了しているが、逗子市との境界確定は50%以下であるため、逗子市との市境界整備共同事業として行ってきた。 逗子市との共同事業は、鎌倉市からの申し入れで平成17年度から実施してきたが、鎌倉逗子ハイランド内の共同事業が平成29年度をもって終了し、残る境界未確定箇所は山林部分となる。 逗子市は、市民生活に影響の少ない山林部分に市税を投入して事業を行うことは対外的な説明ができないこと、開発等で必要が生じた時に民間の費用で行うことを選択したいとの意向であることから、鎌倉市同様、横浜市とは40%程度確定、葉山町とはほとんど境界確定をしていないとのことである。今後とも逗子市に要請はしていくが今後の共同事業の実施は困難な状況である。
-------------------	--

平成30年度(2018年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	平成30年度以降の逗子市との市境界整備共同事業の実施を要請していくが、逗子市の意向もあり実施は困難な状況である。	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	申請に基づき、逗子市との市境界81.45メートルを確定した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	逗子市との市境界整備共同事業の実施を要請していくが、逗子市の意向もあり実施は困難な状況である。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	市境界整備率					単位	%	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)		H30(2018)	R01(2019)		
横浜市・藤沢市・逗子市との境界確定の総合計の目標を設置するため	目標値	90.0	90.0	90.0	90.0		90.0	90.0		
	実績値	86.1	86.4	86.7	87.0		87.3			
	達成率	95.7%	96.0%	96.3%	96.7%		97.0%			

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	平成29年度までは逗子市との市境界整備共同事業を実施し、年度ごとに計画してきた市境界が確定しているため実績値は順調に向上してきた。平成30年度からは共同事業が終了したため、開発等で必要が生じて申請がなされた時に、市境界を確定している。									
-----------------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--